

# このほんしってる？

5・6年生

ここに紹介した本は、図書館にあります。

読みたい本がみつかったら、厚木シティプラザ3階  
 こどもの本のフロア、依知北・睦合北・小鮎・荻野・  
 森の里・玉川・相川・睦合西・南毛利の公民館に来て  
 ください。移動図書館「わかあゆ号」でも、借りられます。  
 本は、ひとり10冊、2週間まで借りられます。  
 読みたい本が貸出中のときは、予約をしてください。



2022年

厚木市マスコットキャラクター  
あゆの回

## 5・6年生 よみもの

『エルビス、こっちにおいで』 さ・え・ら書房

ロドリゴ・モルレシン／文 きたむら さとし／絵 宇野 和美／訳

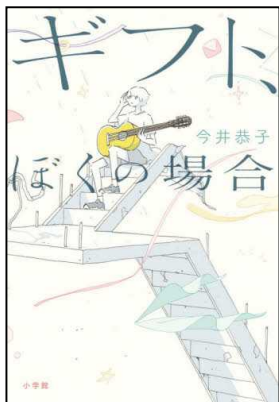
ぼくは、のら犬。いつもおなかがすいていて、食べ物公園の子どものおこぼれや、お肉屋さんのおじさんに期待している。お母さんは人間につかまって「死のトラック」に乗せられてしまった。小さい頃よく「自分の家族をさがすのよ」と言われた。ある日、事故がきっかけでアナに出会い「エルビス」と名前をつけてもらったよ。



『ギフト、ぼくの場合』

今井 恭子／作 小学館

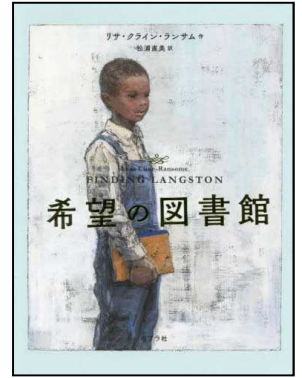
ぼくが三年生のとき、父さんと母さんが離婚した。それ以来、母さんとぼくと妹の美咲の家族3人で、アパートで暮らしている。前は、ギターの手先の父さんに、弾き方を教わっていた。その、父さんにももらったギターは、たたきこわしてしまった。もう、二度とギターにふれる気もなかった。それなのに…。



## 『希望の図書館』

リサ・クライン・ランサム／作 松浦 直美／訳 ポプラ社

ぼくはラングストン。母さんが死んで、アメリカ南部のアラバマから北部のシカゴに来た。父さんと暮らすアパートと、学校を行き来する毎日。学校では「南部のいなかもん」といじめられていた。ある日、シカゴの図書館へ迷い込んだ。そこで、ぼくと同じ名前の詩人がいることを知った。



## 『サステナブル・ビーチ』

小手鞠 るい／作 カシワイ／絵 さ・え・ら書房

宮本七海君はダブルの6年生男子。ダブルというのは七海君が考えた言葉で、一般的には「ハーフ」と呼ばれているけれど、お父さんが日本人でお母さんがアメリカ人の彼は「半分（ハーフ）」と呼ばれることに抵抗がありました。そんな七海君が夏休みハワイに行きベトナム戦争で腕を失ったオーガストさんに出会います。



## 『ジャンプして、雪をつかめ!』

おおぎやなぎ ちか／作 くまおり 純／絵 新日本出版社

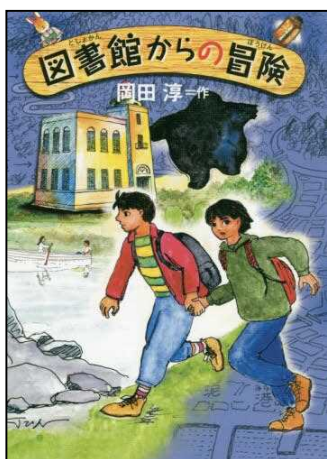
両親が離婚したため唯志は、東京からママのふるさとの青森に引っ越した。そこで待っていたものは、雪下ろしをしないと雪の重みで家が壊れてしまうほどの冬の厳しさだった。ぼっとな便所の存在や人間関係の距離感に戸惑う唯志。東京とは違う環境に馴染めるのだろうか。



## 『図書館からの冒険』

岡田 淳／作 偕成社

小学6年生の渉は廃校になった柴野崎小学校の図書室に、こわされる前に記念に泊まろうと思い立ち、夜しのびこむことに成功する。ところが、図書室に突然、少年が現れ、さらに追いかけてくる足音。渉は少年に押されて閉じた扉に。しかし、ぶつかることはなくて、気づくとシバノザキ島という島にいた。



# 5・6年生 しらべる・あそぶ

## 『科学者になろう！ 実験と観察でわかる科学のひみつ』

スティーブ・モールド／著 後藤 真理子／訳 化学同人

この本には簡単な実験が紹介されています。例えば松ぼっくりのかさの列を数えてみると、パターンがあることが分かります。そのことを発見したのは数学者のフィボナッチ。このように身近なことに疑問を持ち、実験や観察することが科学の発見につながるのです。あなたも科学者を体験してみよう。



## 『クレヨンで描いた おいしい魚 図鑑』

加藤 休ミ／著 晶文社

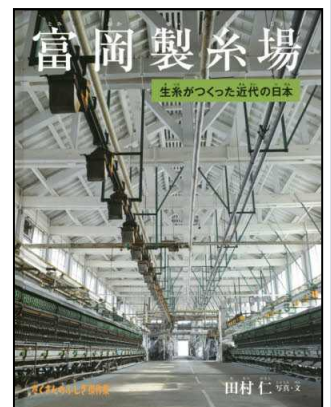


「金目鯛の煮つけ」「エビチャーハン」おまけに「カニパン」まで！おいしい魚たちや魚料理、その他、ちょっと笑える「魚の生息地」や「魚の仲間」など。力強いタッチのクレヨン画のお魚図鑑です。お魚好きもそうでない方も、楽しむことができる1冊です！

## 『富岡製糸場 生糸がつくった近代の日本』

田村 仁／写真・文 たくさんのふしぎ傑作集 福音館書店

明治時代、海外のすすんだ技術を取り入れるため、お金が必要になりました。お金をかせぐために、生糸を輸出することになり、質の良い生糸をつくるため、群馬県につくられたのが、富岡製糸場です。そこは、どんなところだったのでしょうか。



## 『日本庭園を楽しむ絵本』

大野 八生／作 あすなろ書房



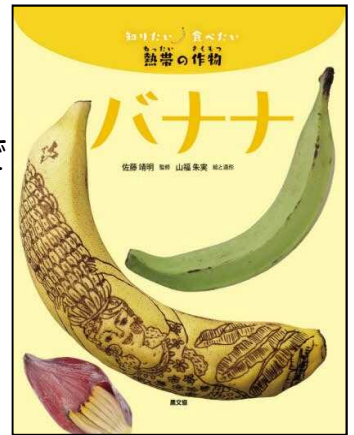
大きな石や、小さな石、砂や石灯籠、生垣、苔や春夏秋冬それぞれに咲く花…日本人がはるか昔飛鳥の時代から作ってきた庭園。「日本庭園を見るのが趣味」なんていうと地味な趣味と思われがちだけど、とんでもない。素敵な色や形を見たら、心を奪われること間違いなし！ぜひ、日本全国の庭園を知って楽しんでください。

## 『バナナ 知りたい食べたい熱帯の作物』

佐藤 靖明／監修 山福 朱実／絵と造形 農山漁村文化協会

バナナは身近な食べ物ですが、売り物はほとんどが輸入品なので育ち方など意外と知らないことだらけです。世界には数百から千種類ものバナナがあるので、実の食べ方や葉の利用も様々です。

もっとも古い作物といわれるバナナの歴史や、世界のバナナ料理も紹介されています。甘いだけではないバナナの話がたくさんつまった本です。



## 『星空をつくる プラネタリウム・クリエイター』

おおひらたかゆき

大平貴之』

楠 章子／作 文研出版

みなさんは、神奈川工科大学厚木市子ども科学館のプラネタリウムへ行ったことはありますか。会場が暗くなると、星空が見えてきますね。何もないドームの天井へ星をうつしているのが、大平さんがつくった投影機「メガスター」です。大平さんは、どのようにプラネタリウムづくりの道を進んだのでしょうか。



### \*中央図書館 3階 こどもの本のフロアのご案内

#### 3階の開いている時間

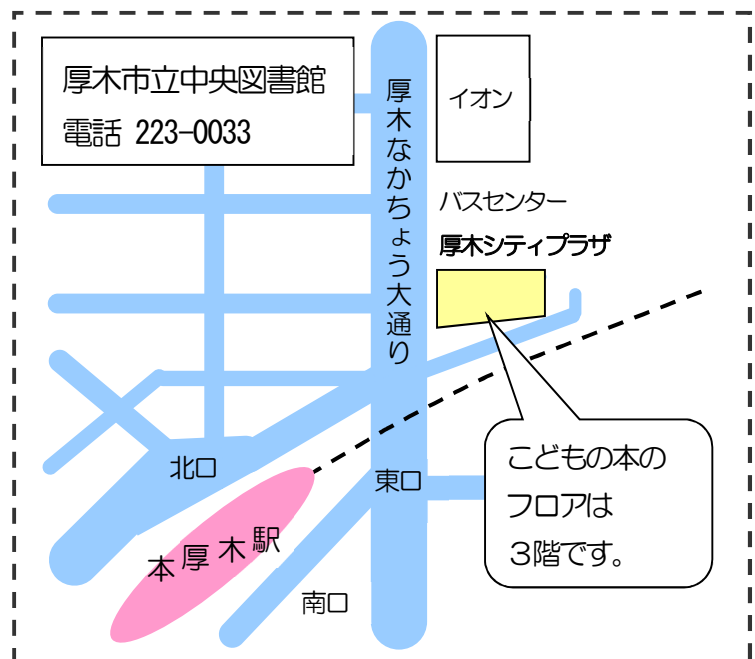
午前9時から午後5時まで

#### お休みの日

しせつほしゅび  
施設保守日

年末年始

本の整理のとき ほか



図書館は、バスセンター南側の厚木シティプラザの中にあります。

